

がん教育と がん登録 市民公開 講座

よりよいがん教育のために知っておきたいたいせつな話

日時 2024年6月15日 土 13:00～14:30

場所 出雲市民会館市民ホール（島根県出雲市）

受講料 無料 申込不要

対象者 一般市民、がん教育関係者、がん患者およびその家族など

座長 大阪医科薬科大学 医学研究支援センター医療統計室 室長・准教授

伊藤 ゆり 先生

演者 国立大学法人群馬大学情報学部 博士(医学)・准教授
神奈川県立がんセンター臨床研究所 がん教員ユニット長

片山 佳代子 先生

元小学校校長

浜崎 順子 氏

島根県がん対策推進協議会委員

桑原 慎太郎 氏

共催 島根大学医学部附属病院／島根県／出雲市
認定特定非営利活動法人 日本がん登録協議会／J-CIP市民公開講座

問合せ 第33回日本がん登録協議会学術集会事務局

島根大学医療サービス課 0853-20-2587

島根県健康福祉部健康推進課がん対策推進室 0852-22-6701



国立大学法人群馬大学情報学部
博士(医学)・准教授
神奈川県立がんセンター臨床研
究所 がん教員ユニット長

片山 佳代子 先生

「がん教育とがん登録
～データをがん教育に活かす
ために：神奈川県の事例」

元小学校校長

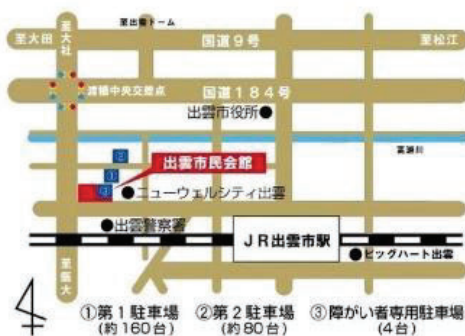
浜崎 順子 氏

「がん教育の中で伝えたいこと
がんサバイバーとして
取り組むがん教育」

島根県がん対策推進協議会委員

桑原 慎太郎 氏

「がん教育をやってみて
感じたこと、思ったこと
～がん経験者の立場から～」



出雲市民会館へのアクセス

2012年に閣議決定された第2期がん対策推進基本計画に初めて「がん教育・普及啓発」という施策が盛り込まれ、以後がん教育は、学習指導要領の改正に伴って小学校では2020年度から全面実施となり、中学校では2021年度から、高等学校では2022年度から「保健」の授業を通して必修化されている。文科省は「生涯のうち国民の2人に1人が罹ると推測されるがんは重要な課題であり、健康に関する国民の基礎的教養として身に付けておくべきもの」としてがんに対する正しい知識、がん患者への理解を通じ、健康と命の大切さに対する認識を深めることを目的に、がん教育を推進している。

がん教育を通してがんを学ぶ意義の1つに、がん登録データから導きだされた「一生のうち2人に1人ががんに罹患する」時代でそれだけ身近な疾患であるということがある。また、がん対策を講じる上で重要な地域ごとのがんの状況を正確に把握し、その地域に即したがん対策を講じるということ、がん教育によってがんは地域や人種、性差による特徴や違いがあることを知ることも重要だという視点がある。そして、がんという疾患と戦っておられる方々について理解し、スティグマ（偏見）をなくし、がんと共に生きる社会づくりに子どものうちから参加する重要性という点、4つ目に、信頼できる情報（データ）を見極める力を養う必要があり、がん教育はその一端を担っているとも考えられる。これらがんを学ぶ理由の根底にあるのが、がん登録や保健衛生統計といった科学的根拠のある正確なデータの重要性、必要性がある。

神奈川県では2015年にがん教育検討会が組織され、現在、検討会は協議会に昇格し、県教育委員会が事務局となり医療と教育、そして患者会と連携をしながら「神奈川県がん教育ガイドライン」を作成し、2023年3月公開に至った。本公開講座では、神奈川県での取り組みを紹介しながらがん教育とがん登録やデータ利活用の事例を共有し、島根県のみならず広くがん教育の普及啓発を目指したい。

・島根県では学校におけるがん教育を推進することを目的として、がん教育の外部講師をしてくださる方を県内の各学校へ紹介しております。ご協力いただける方は、以下の問い合わせ先へご連絡いただくか、県HPをご覧ください。

【県HP】以下のURLもしくはQRコードからご覧ください。

<https://www.pref.shimane.lg.jp/medical/kenko/kenko/gan/gan1/gankyousuishinjigyoku.html>



【問い合わせ先】

島根県健康推進課がん対策推進室 TEL:0852-22-6701 E-mail:gantaisaku@pref.shimane.lg.jp